

DeepFreeze での  
ユーザーデータの保存



Faronics  
**DEEPFREEZE™**

(株) ネットワールド  
SI 技術本部 作成

## ご注意

この資料は Faronics 社の正式レビューを受けておりません。

資料の内容には正確を期するよう注意しておりますが、この資料の内容は 2011 年 1 月 27 日現在の情報であり、今後変更になる可能性がありますのでご注意ください。

当社が実際の動作環境をこの資料により保証するものではありません。

実際の設定、動作に関しては評価版にて事前にご確認いただけますようお願い申し上げます。

評価版は下記 URL からダウンロード手続きが可能です。

<http://www.networld.co.jp/faronics/eval.htm>

また、ネットワールドでは評価版の無償サポート（30 日）を用意しております。評価版ご使用の際、不明点等ございましたら弊社評価版サポートをご利用ください。

[http://www.networld.co.jp/faronics/sup\\_eval.htm](http://www.networld.co.jp/faronics/sup_eval.htm)

本資料に記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商号、登録商標または商品名称です。

## 更新履歴

作成 2011 年 1 月 27 日

## Deep Freeze でのデータの復元

Deep Freeze はクライアントにデータを残さないように、再起動時に元の状態に復元する製品です。Deep Freeze では、ドライブ単位で保護/ 非保護の設定を行います。保護状態 (Frozen) で変更された保護ドライブのデータは、再起動時にもとの状態に復元されます。

しかしながら、アプリケーションによってはローカルに一部のデータを保存しておく必要があることも想定されます。

このドキュメントでは、コンピューターが保護状態であっても、再起動時に必要なデータを保持する方法について紹介します。

## Deep Freeze での非保護領域

Deep Freeze では、非保護領域 (Thawed 領域) に保存されたデータは再起動を行っても復元されることはありません。以下の方法により、Deep Freeze で非保護領域を構成することができます。

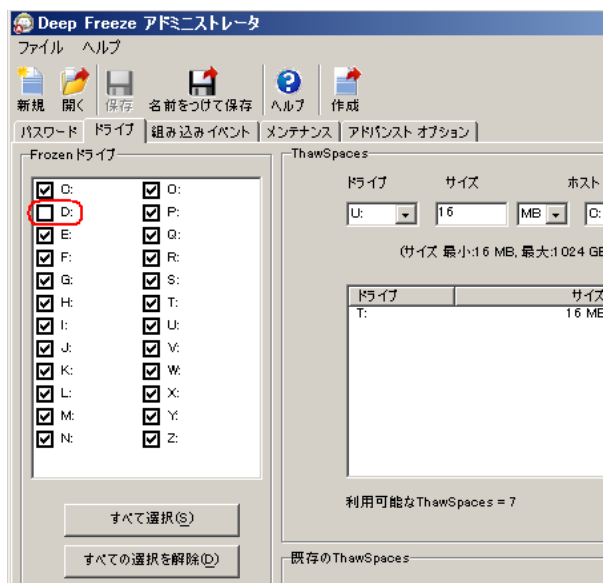
### ネットワークドライブへの保存

Deep Freeze では、ネットワークドライブは保護されないため、ネットワークドライブに保存したユーザーデータは特別な設定をしなくても失われることはありません。

ただし、ネットワークに接続できない場合やネットワークが切断されているケースではデータが保存できないため、この方法は使用できません。

### 非保護ドライブへの保存

非保護ドライブは、Deep Freeze で Frozen ドライブに指定しなかった物理ドライブです。コンピューターに少なくとも 2 つの物理ドライブがある場合に使用できます。Deep Freeze Standard では、どのドライブを保護するかはインストール時に選択できます。Deep Freeze Enterprise では、ワークステーションインストールファイルを作成する際 (Deep Freeze アドミニストレーターの [ドライブ] タブでこのオプションを構成できます。



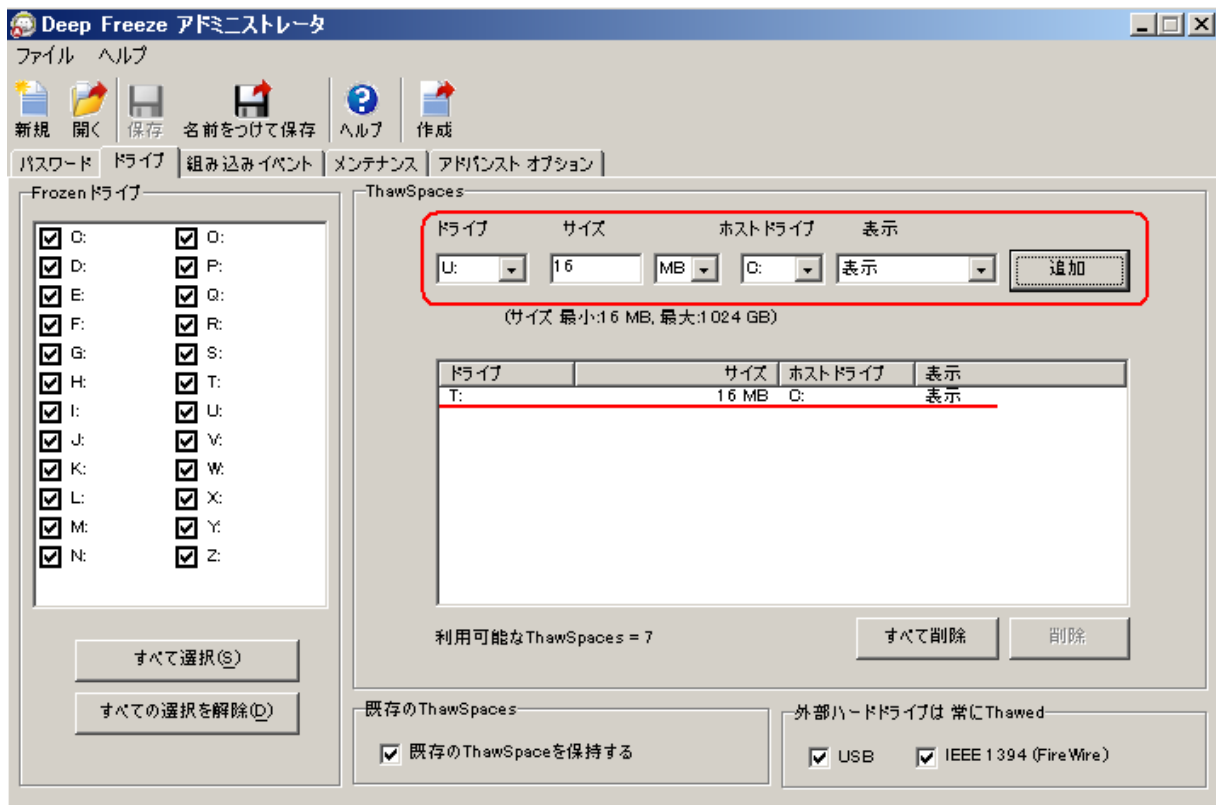
### Deep Freeze Enterprise の設定

左図の設定では、D ドライブは非保護ドライブとなり、Deep Freeze で保護されないドライブとなります

Deep Freeze がすでにインストールされている環境では、ドライブの追加、削除、変更はできません。設定を変更したインストーラで、再度インストールを行う必要があります。

## ThawSpace への保存

Deep Freeze では、ワークステーションインストールファイルの設定で、ホストドライブ内に ThawSpace (仮想ドライブ) を構成できます。ThawSpace に保存したデータは、コンピューターが再起動しても、データは保持されます。ただし、ThawSpace は Deep Freeze Standard では使用できず、Deep Freeze Enterprise のみで使用可能です。Deep Freeze アドミニストレータの[ドライブ]タブで ThawSpace を構成できます。



ドライブ名(デフォルトは T)、サイズ、ホストドライブなど指定します。

ThawSpace の作成方法については、Deep Freeze Enterprise ユーザーガイドを参照してください。

## Data Igloo を使用したフォルダ、レジストリデータのマッピング

アプリケーションによっては、ローカルの特定の場所にユーザーデータを保存するものがあり、またその部分は再起動時にデータが元に戻らないようにしたいというケースがあります。ユーザーデータが保存される場所があらかじめ決まっている場合には、個々のマシン上で設定を行うことにより、ユーザーデータを非保護領域へリダイレクトすることができます。

ここでは、Faronics 社より無償で提供されている Data Igloo という製品を使用し、個々のコンピュータでデータをリダイレクトする方法を紹介します。

### Data Igloo でフォルダをリダイレクトする

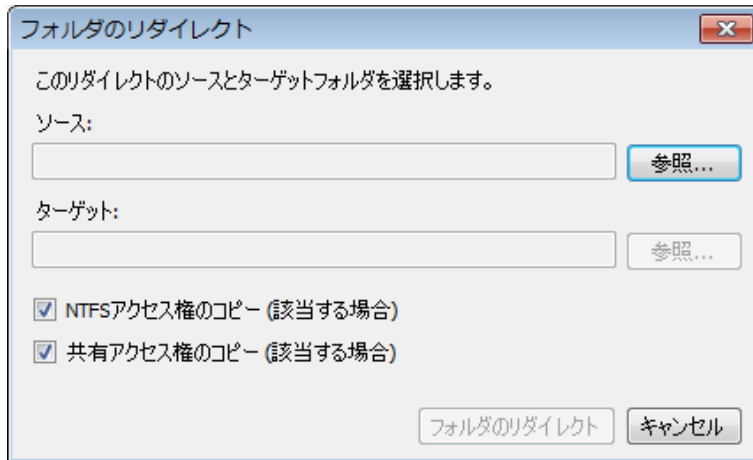
Data Igloo の[フォルダのリダイレクト]機能で、コンピュータの NTFS ボリュームやパーティションにフォルダをリダイレクトすることができます。

#### <手順>

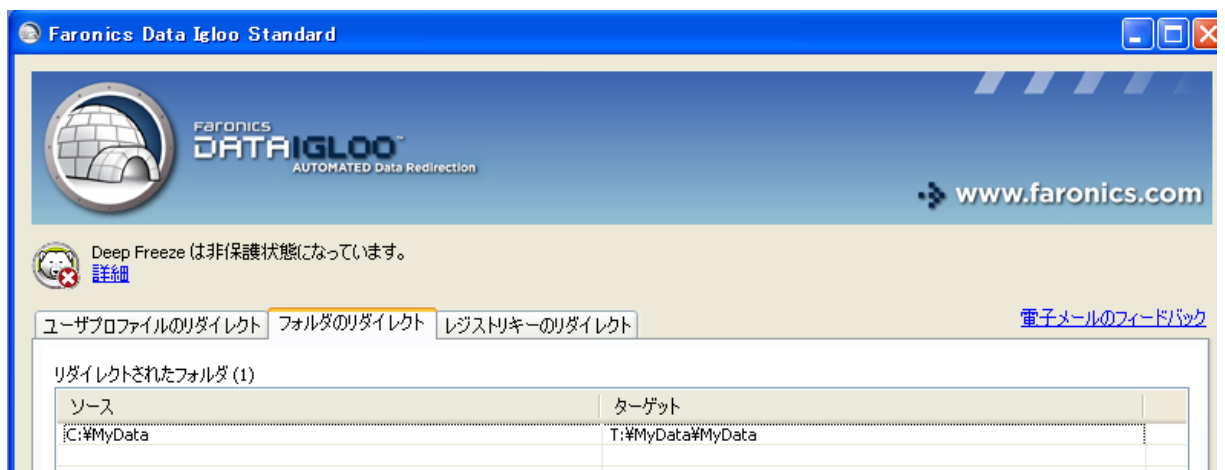
1. Deep Freeze のステータスが非保護状態 (Thawed) であることを確認します
2. Data Igloo のインストーラを実行し、ワークステーションに Data Igloo をインストールします
3. スタートメニューから[すべてのプログラム]—[Faronics]—[Data Igloo]を選択し、Data Igloo を起動します



4. [フォルダのリダイレクト]タブを表示して、[フォルダのリダイレクト...]ボタンをクリックします



5. [フォルダのリダイレクト]ダイアログで[ソース]の[参照]ボタンをクリックし、移動元フォルダを選択します
6. [ターゲット]の[参照]ボタンをクリックし、非保護ドライブのフォルダ (リダイレクト先) を選択します
7. ソースフォルダに適用されたNTFSアクセス権 と共有のアクセス権をターゲットフォルダーにコピーするかどうか、チェックボックスを選択します。  
※アクセス許可は、ターゲットフォルダー内のファイルとフォルダに適用されます
8. [フォルダのリダイレクト]ボタンをクリックします
9. プロGRESSバーが表示された後、フォルダのリダイレクトが作成されます



## Data Igloo でレジストリキーをリダイレクトする

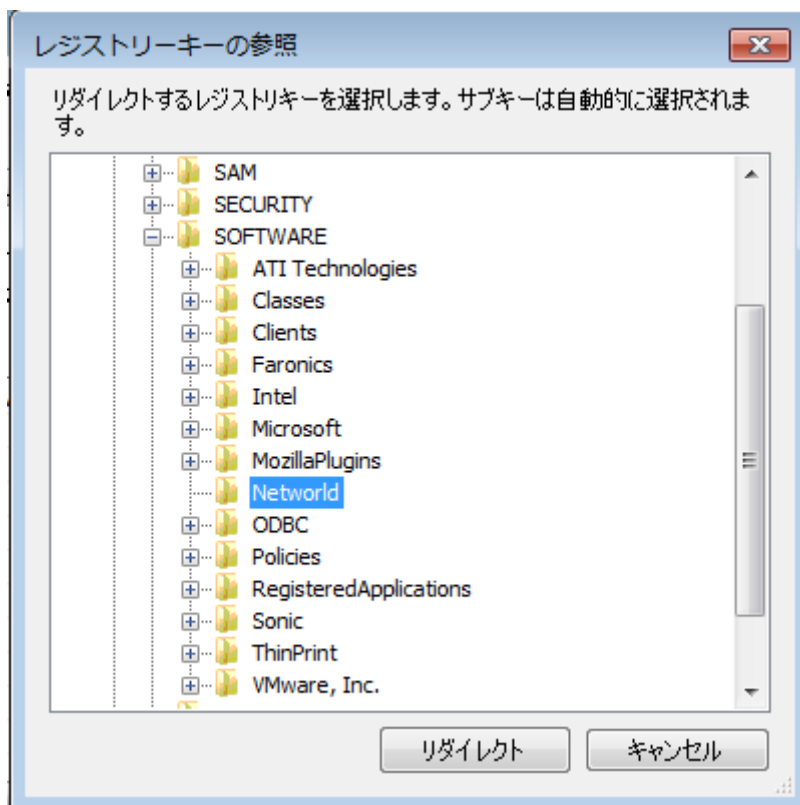
[レジストリキーのリダイレクト]タブにより、選択したレジストリキーに発生した変更を ThawSpace にリダイレクトできます。これにより、Deep Freeze のステータスが Frozen 状態でも、レジストリキーへの変更が維持されます。Deep Freeze のステータスが Thawed 状態になると、ThawSpace に保存されたレジストリキーへの変更は、自動的にレジストリに復元されます。

注)

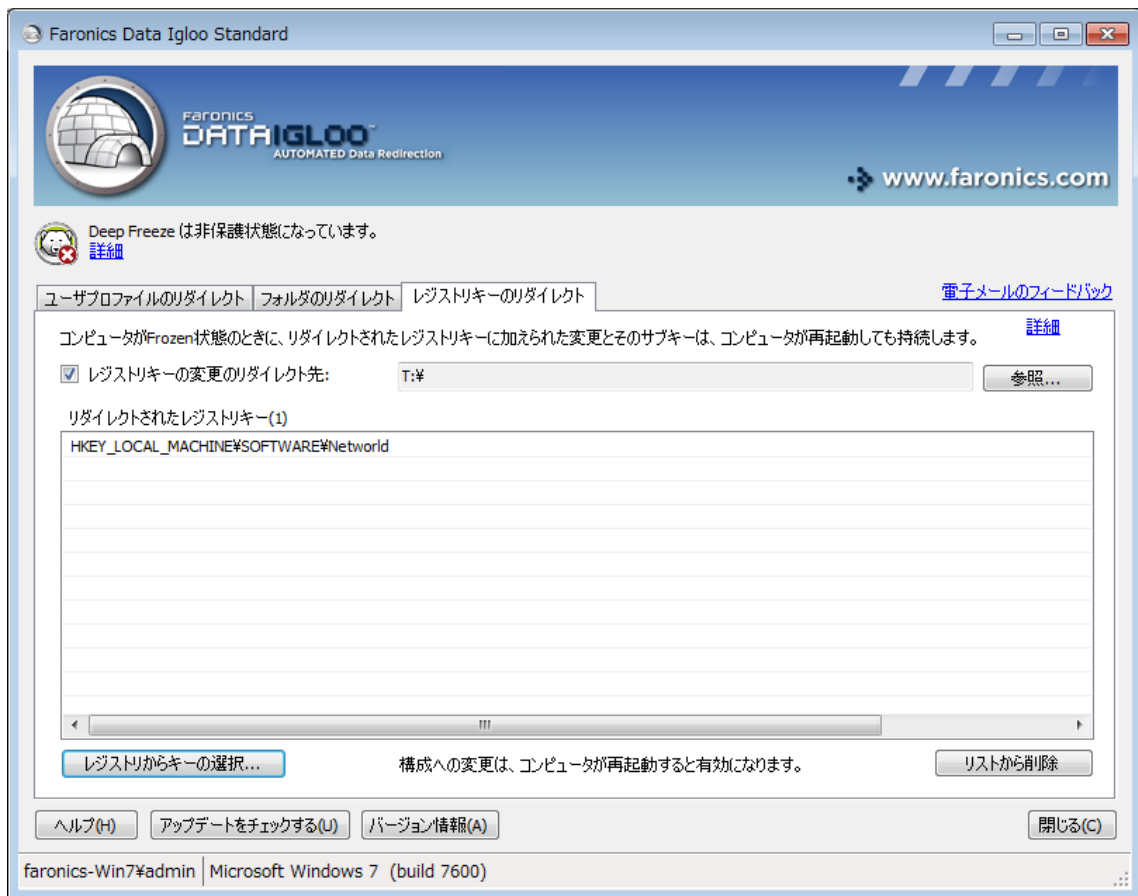
Data Iglooを使ってリダイレクトできるのは、HKEY\_LOCAL\_MACHINEレジストリキーのみです。

### <手順>

1. Deep Freeze のステータスが非保護状態 (Thawed) であることを確認します
2. [レジストリキーのリダイレクト]タブを表示して、[レジストリキーの変更のリダイレクト先]にチェックを入れます
3. フォルダの参照画面が表示されるので、非保護ドライブのフォルダ (リダイレクト先) を選択します
4. [レジストリキーからキーの選択...]ボタンをクリックして、[レジストリキーの参照]ダイアログでリダイレクトするキーを選択し、リダイレクトボタンをクリックします



5. レジストリキーは非保護領域にリダイレクトされます



注)

ThawSpace に Data Igloo を使用してリダイレクトを行う場合、ThawSpace が Windows Explore で表示されている必要があります。ThawSpace が非表示になっている場合には、以下の手順で表示することができます。

1. ワークステーション上で、Shift+Deep Freeze アイコンをダブルクリック（もしくは Ctrl+Alt+Shift+F6）し、Deep Freeze Enterprise を表示し、ログインします
2. ThawSpace タブを表示します
3. Windows Explore で表示されていないドライブ文字の[表示]チェックボックスをオンにして、OK をクリックします
4. コンピューターからログオフして、再度ログオンします

ThawSpace が表示されたら、Data Igloo でリダイレクトの設定を行ってください。設定後、ドライブの非表示を行う場合には、再度 Deep Freeze Enterprise にログインし、ドライブ文字の[表示]チェックボックスをオフに設定します。